PDF Compressor Free Version

# 寿楽苑だより

118号

社会福祉法人　舟見寿楽苑
発行責任者/施設長　高　村　敏　明
〒938-0103　富山県下新川郡入善町舟見1664
TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941
e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp
http://www.funamijurakuen.jp
舟見寿楽苑　検索

発行/令和 4年 7月20日

## ドライブで宇奈月ダムへ

6月18日、入居者様が、ドライブで、約1年ぶりに宇奈月ダムへ出かけて来ました。

天気に恵まれ、車の窓から入って来る爽やかな風が、頬をなでていきます。

「久しぶりに外へ出たわ」

「吸う空気やって、なんやら違うもん」

ダム湖へ着くと、車から降りて小休止。

「ダムの色ちゃ、あんな濃い緑色しとるがいね」

「昔、家のもんと一緒にここへ来たが、思い出すわ」

気分転換を図り、どなたも笑顔での散策でした。

## 七夕飾り作り

6月20日から7月初旬にかけて、入居者様が広場で七夕飾り作りを行いました。

作り方は、職員が指導。入居者様は、教わったとおりに、折り紙を丁寧に折っていきます。

「こいが作るが、久しぶりや」

「ここの角を折るが、ちょっと難しいね」

「細かいけど、やったら、なんとかできるもんやわ」

そうこう言っているうちに、飾りが1個、また1個と出来上がっていきます。

自分たちで作った飾りを、手に取って見ながら、「これ、七夕で飾るが、楽しみやわ」。

## 喜楽苑で夏まつり

7月11日、喜楽苑広場で夏まつりを開催しました。

芸達者な職員による、スコップ三味線、民謡踊り、カラオケ、ハーモニカ、マジックなどが、次々に披露。

自作の人形を持ち込み、3人揃った踊りには、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。

「職員さんたち、どこで練習したがかね」

「あれなら、でっかいホールで、入場料もらっても、いいくらいやよ」

そして、お菓子と冷たいジュースなども準備。

「こいが、ちょくちょくありゃ、いいがにね」

「今日の夏まつり、今まで一番楽しかったわ」

PDF Compressor Free Version

# ひばり野苑

## 白玉だんご作り

6月13日、入居者様と一緒に、白玉だんごを作りました。

ボールの中へ粉と水を入れ、腕自慢の入居者様がこね始めます。懐かしそうな顔で、「これ、子供たちに作ってやったら、喜んどったもんや」。

だんごを丸める係の入居者様は、「こいもんで、いいがけ」と出来上がりを1個ずつ職員に見せて確認するなど、全員協力してです。

きな粉、あんこ等3種類の味で、「久しぶりやけど、やっぱりおいしいね」と笑顔の声が聞かれました。

## シャボン玉

6月25日、入居者様がテラスへ出て、シャボン玉を楽しみました。いい天気で、シャボン玉をするにはうってつけの日です。

「子供の頃、台所にあった石鹸で作ってもらったが、覚えとるわ」。

「順番待たれんで、先にやるって、姉弟げんか始まったもん」

筒を、フーっと吹くと、シャボン玉がキラキラ虹色に輝きながら、空中へと。それを見上げながら、「きれいやねぇ。あっ、でかいが割れた」。

# 喜楽苑

## チンドン屋道中

5月30日、職員がチンドン屋に扮し、ひまわり・コスモス・たんぽぽのリビングを、順番に回りました。

入居者様は、楽器を演奏しながら登場した、チンドン3人組一行に目を丸くしてびっくり。

ところが、チン、ドン、チャン自己紹介の後、一緒に「茶摘み」を歌ったり、プレゼントを受け取ると、笑顔に変わり、「この人たち、本物のチンドンさんやわ」。

退場する際には、あちこちから「賑やかで楽しかったよ、また来てね」と名残惜しむ声が聞かれました。

## たこ焼き作り

6月20日、3か所のリビングで、たこ焼き作りを行いました。ホットプレートは熱いため、やけどをしたりしないよう注意しながら、天かす、しょうが、チーズなどを中へ入れていきます。

焼きあがると、「なんか、いい匂いしてきたぜ」と、そわそわし始めた入居者様。

出来たばかりのたこ焼きに、手を伸ばそうとする入居者様へ、職員が「熱いので、冷ましてからにしましょうね」と、止めるシーンも。その後、「アツアツのたこ焼き、おいしいね」と笑顔の入居者様でした。

PDF Compressor Free Version

# ショートステイ

## 飾りは、あじさいと七夕の順に

6月に入って、利用者様へ「装飾作りは、何がいいでしょう」と尋ねると、「何が、いかろかね。花なら、あじさいかね」という答えです。

そこで、あじさいの花づくりに決定。

折り紙を折るのは、手先の器用な利用者様と、少しだけ職員がお手伝い。

時間をかけ、青、紫、ピンクなど、色とりどりの花びらが出来上がっていきます。

利用者様は、「いいがに、なったぜ」「あんたのがも、きれいやわ」と互いに見せ合いっこ。

早速、貼りつけると、たくさんのあじさいの花で、

壁が埋もれてしまうほどです。

それを見ながら、満足気な表情で、「ピンクが入っとるから、なおのこと、かわいらしなったわ」。

あじさいに続いて、七夕飾りに挑戦。

「はや、七夕なるがけ。なら、作らにゃならんね」と、やる気満々。

小さく切ったカラフルな折り紙などを、順番につなげると、飾りは出来上がりです。

それを、竹につけていくと、立派な七夕飾りに変身。「元気が一番」と書かれた短冊が、窓から入る風で、ゆらゆらと揺れていました。

# デイサービス

## 新・割り箸さしとボール落とし

6月のデイサービスは「新・割り箸さし」と、「ボール落とし」というゲームを行いました。

「新・割り箸さし」は、ペットボトルの横に穴が開けられており、そこへ20本の割り箸を、さしていくというゲームです。

利用者様3名が1チームになり、割りばしを順番にさしていかなければなりません。

「ここにさしても、大丈夫やろかね」

「ありゃ。させるとこ、ないがなったわ」

智恵の輪を解くように頭を悩ませながら、ワイワイガヤガヤ、とても賑やかなゲームになりました。

「ボール落とし」は、箱に入ったボールを下へ落としていくゲームで、箱の底にはボールより少し大きめの穴が開いています。

利用者様は、持った箱を横に揺らしたり傾けたりしながら、相手のチームより少しでも早く、ボールを落とそうと工夫するのですが。

「ボール、なんで、下落ちんがよ」

「あんまり力いっぱい、動かし過ぎてもダメやぞ」

中には、力が入って椅子から立ち上がり、持った箱を左右に揺らす利用者様もいらっしゃいました。

PDF Compressor Free Version

まごころ善意
令和 4年 5月18日～令和 4年 7月17日
（順不同・敬称略）

寄付金

・林　あや子　・泉　百合子
・匿名

寄付物品

・平野 真弓　・松嶋 孝司　・中島 久美子　・林 あや子　・吉野 正治　・藤井 加津枝
・島瀬 清　・大平 和子　・五十里 平三　・早川 久義

**皆様　ありがとうございます**

## ご利用者様・関係する皆様へのお知らせ

短期入所生活事業の縮小について

ご利用者様・関係する皆様には、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが、当苑で実施しています短期入所生活事業を、8月31日付で縮小することになりましたの、お知らせ致します。

## オープン型シャワーバス導入

舟見寿楽苑に、5月末からオープン型シャワーバスを導入し、入居者様にご利用いただいています。

全身浴に近いシャワー浴ができ、圧迫感の少ない300μmのミストシャワーが、体全体を包んで肩までしっかり温めてくれます。シャワー浴は心肺への負担が少なく、利用する入居者様にとっては、安心・安全に心地よい入浴ができるようになりました。

## 舟見寿楽苑・喜楽苑で消火訓練

7月4日、舟見寿楽苑と喜楽苑で、職員を対象にした消火訓練を行いました。

専門関係者指導のもと、職員が一人ずつ実際に消火器を使用しての訓練です。

ピンをはずしてから、火元めがけて噴射するまでの基本的な流れを学び、職員は真剣な表情で取り組んでいました。

■　編集後記

散歩へ出かける前、近くにあったシャツを着ようとすると、家人から「なんで、いつもそんな古い物ばっかり着るが。新しいのがないわけじゃなし」と。そして、「見とる人やって、古いがより新しい服見たら気持ちいいし、もったいないからって、着んと時代遅れになったタンスのこやし、どれだけあるが」と、痛い所を。

別のシャツを着て散歩していると、若い夫婦連れの女性が、笑顔で「こんにちは」と声を。これまで、何度か顔を合わせているけど、どこの誰かは知らない人。出会った私たちにも声をかけるぐらいなので、きっと家や職場などでも同じようにしているのでしょう。笑顔で話しかけられると、こちらまで自然と笑顔に。

物を大切にするのもいいけど、限度があることは肝に銘じたいもの。その限度なんて関係なく、振りまけば、誰だって幸せな気分になるのが笑顔。眉間のしわなんて捨て去り、いつも笑顔で挨拶ができれば。